

鎌倉自主探鳥会グループの活動について

活動の趣旨と概要

私達「鎌倉自主探鳥会グループ」(略称:KJG)は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として、鎌倉市内を中心に様々な活動を実施しています。

1) 「鎌倉自主探鳥会」の実施

鎌倉・源氏山公園周辺を主な活動の場として、次のような観点から、定例の自然観察会「鎌倉自主探鳥会」(略称:自主探)を一般市民対象に実施しています。

1. 自然観察の精神と方法を普及する。
2. 地域的なグループ活動を促進する。
3. 自然観察会のリーダー及びサブ・リーダーを養成する。
4. 自然観察の方法及び自然観察会の企画・運営について研修する。
5. 地域的な自然保護活動を促進する。
6. 源氏山周辺の自然を総合的に調査する。
7. 都市公園と緑地のエコアップ(環境向上)をはかる。

“第2・自主探” 毎月第2日曜日 [雨天決行]

集 合：鎌倉市役所・中庭 (ビオトープ池前)。

午前8時30分 ※ 猛暑のため、8月は休止。

持ち物：筆記用具(多色ボールペン・色鉛筆)、雨具、

観察用具(双眼鏡、図鑑etc.)、水筒 etc.

1979年10月に開始され、毎月第2日曜日に、一般市民を対象に実施している自然観察会です。

源氏山公園までの一定のコースをゆっくり歩きながら観察します。

源氏山公園の頬朝像前で合流し、昼前には解散します。

新型コロナ禍で、公開を中止しておりましたが、感染症対策に配慮し、2024年4月から、集合場所と集合時刻を変更して再開しました。

なお、参加者が多い場合は、グループに分けて行動します。

野鳥に始まり動物・植物・昆虫へと自然観察の眼を広げながら、晴雨に拘わらず一定コースを一定時刻に継続して観察し、得られた知見から地域に密着した自然環境の保護と改善のための活動を展開しています。

コースの途中、佐助川の清掃やエコアップ作業、佐助稻荷のエコアップ作業、源氏山公園の野鳥用水場の清掃作業等も実施しています。

2) 「スズメ会」

「スズメ会」は、“自主探”の後に実施されており、“自主探”的まとめ・復習、参加者同志の親睦、調査・行事等の企画、自然保護講座や各種勉強会、動植物や水質の調査・エコアップ作業などを行っています。

3) その他の活動・表彰等(順不同)

以下に示す活動のほか、研究報の発行や論文の発表、各種研修会の実施、カラスの摺入りカウント調査やタカの渡り調査など、鎌倉市を中心とした動植物の総合調査も行っています。

【行政機関・諸団体・市民活動への協力】

自然に関わる広報から施策の立案・実施に至るまで、行政では手の届かない部分でのお手伝いをしております。

* 源氏山公園と散在が池公園の巣箱と野鳥誘致施設の管理

源氏山公園(1984年2月～)と散在が池公園(1985年6月～)の野鳥誘致施設や野鳥用巣箱の管理等を継続して実施しています。

* 鎌倉市の「広報かまくら」「かまくらっ子」「市政要覧グラフ版」等の特集記事の編集に協力し、広報ビデオ「かまくらの野鳥」の監修も担当しました。

* 鎌倉市教育委員会発行「鎌倉の自然」の野鳥の部の編集に協力

市内の中学校の理科の副読本として使用されています。

* 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへ委託協力(1993年4月～)

毎年、野鳥を中心に数多くの傷病鳥獣を保護・搬送しています。

* 佐助稻荷のエコアップ活動を実施(1993年5月～)

台風災害後の崖崩れ対策工事に際し、ゲンジボタルの生息環境を復元できるように神奈川県横須賀三浦地区行政センターに提言し、了解を得て、エコアップ活動を継続しています。

* 佐助川でのエコアップと維持管理活動に対し、鎌倉市道水路管理課から「道路河川維持協力員」の委嘱を受ける(1997年4月～)。

佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査等を実施しています。

* 環境庁・神奈川県等の野生生物生息調査に協力

* 「鎌倉市自然環境保全基本計画」の策定と市民による調査

「鎌倉市自然環境保全基本計画」策定の基礎調査について、計画段階から参画し協力しました。

平成6年度に実施した市民参加による動植物調査「ウメノキゴケ類とアカガエル類の調査」では、企画から調査・まとめまで全面協力。

* 「わがまち “かまくら” まちづくりシンポジウム」で提言

第3次鎌倉市総合計画の策定に先立って開かれたシンポジウムに、パネリストとして出席し、「野生生物と共存できる 市民と自然にやさしい思いやりのある まちづくり」を提言しました。

* 鎌倉市「緑の基本計画」の策定に、市民委員として参加協力。

* 鎌倉市緑政審議会委員の市民委員と専門委員

(1998年1月～2002年1月・2008年1月～2012年1月・2012年1月～)

鎌倉広町緑地の中間答申のまとめや市内の緑地の自然環境調査の実施等に、市民委員として関わった。

現在は、鎌倉市緑化推進専門委員として、鎌倉市緑政審議会委員の専門委員も引き受けています。(2006年1月～)

* 鎌倉市緑化推進専門委員(2000年12月～)

鎌倉市「緑の基本計画」に基づく**緑地保全推進地区指定候補地**

22カ所の自然環境調査のアドバイザーを務めると共に、「**鎌倉市自然環境調査協議会**」の主要メンバーとして、調査結果の検証とG I Sを利用したデータベースの整備を行ない、積極的な活用を図っています。

* 「鎌倉の海岸動植物と漂着物の観察調査」をかまくら環境会議と協力し、鎌倉市の後援も得て年1回実施。(1996年~)

* 鎌倉市海浜課主催の(仮称)鎌倉海浜ベルト総合整備構想の市民ワークショップと市民研究会に参加協力。

* 鎌倉海浜ベルト総合整備構想推進プログラム策定委員

(2000年~2001年)。

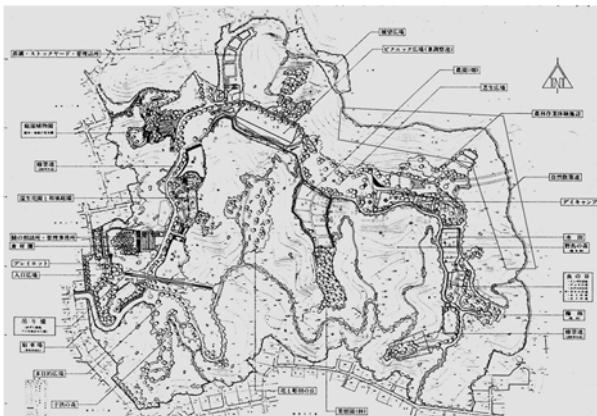
* 鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)を月1回指導(平成6年~)

「鎌倉市緑のレンジャー」制度の創設に協力し、鎌倉市から指導員の委嘱を受けています。



* 鎌倉中央公園の整備・管理に提言・協力

鎌倉中央公園の整備・管理に対し、既存の動植物の保全を目的として、独自に自然環境調査とゾーニング(鎌倉市内では初の試み)を実施し、基礎データを提供すると共に、具体的な改善案や整備計画の見直し案を提示すると共に、エコアップ作業(1993年5月~)と環境モニタリング調査を実施しています。



鎌倉中央公園の現況調査結果(1996.08.)

* 鎌倉中央公園運営協議会委員(1997年~2001年)、鎌倉中央公園管理運営協議会委員、公園利用者懇談会等を歴任。

* 神奈川県情報システム課「神奈川県情報化シナリオに関する有識者懇談会」に、県内の環境N G Oの代表として出席。

* 神奈川県藤沢土木事務所県民懇談会委員に自然保護団体の代表として参加。(平成12年~14年、平成16年~18年)

*「神奈川県河川管理協力員」を務めました(平成13年~令和5年)。

神奈川県管轄の鎌倉市内の河川(滑川・神戸川・柏尾川)の状況について、定期的に調査・監視・報告を行ったほか、護岸の整備や河川の維持管理に対して助言をしました。

* 神奈川県藤沢土木事務所が、2012年3月に柏尾川・古館橋下流へ設置した「野鳥観察ガイド用サイン」の原案を作成・提供。



* 町内会・子供会・小学校・P T A・公民館・教養センター・青少年会館等の自然観察会をはじめ、市内外の各種講座・催しへ講師を派遣しています。

* 鎌倉メダカ等の遺伝的地域性の系統保存を進めています。

鎌倉市環境政策課の協力を得て、鎌倉メダカの保護・増殖を図ると共に、鎌倉メダカの里親制度を設け、事務局を担当。

* 山崎・台峯緑地と鎌倉広町緑地の自然保護

鎌倉三大緑地である両緑地の自然環境と生物の多様性を守るために、鎌倉市の自然環境調査や基本計画の策定に協力すると共に、地元の方々の活動に対しても、自然保護の実践と理論の両面にわたって、強力なお手伝いを続けています。

* 鎌倉市教育委員会の依頼で、市内の小中学校の理科担当教員の研修会で講師を務めました。(平成12年~13年)

* 鎌倉市内の自然保護団体を代表して、(財)鎌倉風致保存会理事を務めています。(1999年10月~)

* 国際植生学会のエクスカーション、

全国野鳥保護の集い、各種シンポジウム等への協力

この他、「環境事業団の地球環境基金の説明会」、「環境保全活動と企業人の集い—環境保全活動の現状」、「環境保全活動を実施する民間団体と環境事業団及び関係省庁との懇談会」等に環境N G Oの代表として出席しました。

* 神奈川県自然環境保全審議会委員。(2003年4月~2021年3月)

* 神奈川県鳥獣総合対策協議会委員。(2012年4月~)

* 鎌倉市鳥獣対策協議会の副議長として、鎌倉市のクリハラリス(俗称タイワンリス)の防除実施計画の策定に係わる。

* 六国見山森林公园の整備に際し、重要な野草の群落等が保全されるよう具体的な助言を行なうと共にモニタリングを実施している。

* 夫婦池公園の整備に際し、総合的な自然環境調査を実施し、現存の野生動植物の保全と生息環境の多様性を創出するための具体的な助言と水系環境保全のためのエコアップ作業を実施した。開園に際し、案内板やパンフレットの原案を作成・提供すると共に、開園後のモニタリングも実施しています。



【表彰・助成 等】

* トヨタ財団より研究助成

1984年4月、トヨタ財団の第3回研究コンクールに応募し「観光ゴミとカラスの関係」のテーマに対し、50万円の助成を受ける。

* 平成6年度 神奈川県環境保全功労者 横須賀三浦地区

行政センター所長表彰「野生鳥獣功労」を受ける。

傷病鳥獣の保護・搬送活動等に対して表彰を受けました。



* 第13回 朝日森林文化賞を「自然の植生や生態系の観察・復元、行政への提言など、地域環境の保護に取り組む」活動で受賞。

正賞のレリーフと副賞100万円を戴いた。

また、皇居吹上御所において、天皇皇后両陛下と紀宮様に、親しくご歓談賜りました。



* 環境庁等の外郭団体である環境事業団より「自然環境チェックとミニエコアップ活動のネットワーク作り」活動に対し、

平成7年度の地球環境基金による助成300万円を戴く。

鎌倉市内の自然環境台帳作り、水源環境調査、酸性雨調査等を実施した。

* 平成8年度 鎌倉市市政功労者表彰「環境保全功労」を受ける。



* 平成11年度神奈川県知事表彰「かながわ地球環境賞」を受ける。

平成16年第58回愛鳥週間に於いて、(財)日本鳥類保護連盟より、野生鳥獣の保護と鳥獣愛護思想の高揚に寄与したとして、感謝状を受ける。



* 平成21年度(社)神奈川県獣医師会ハーモナイズ賞を受賞。

その他、鎌倉市 市政功労者表彰「環境保全功労」「自治功労」など多数。

* 「かまくら環境白書」の各年度版に活動掲載(平成8年度~)

民間団体による環境調査とエコアップ活動の例として、鎌倉自主探鳥会グループの活動が紹介されています。

* 「鎌倉市環境保全行動指針」に掲載

私達が鎌倉市下水道河川整備課から依頼されて作成した「扇川のエコアップ基本案」を基に再整備された「御谷川の多自然型河川改良」が紹介され、市内の環境保全団体として、鎌倉自主探鳥会グループも掲載されています。

【論文発表 等】

* (財)日本野鳥の会研究報「Strix(1988.VoL.7)」

「鎌倉周辺におけるタカ類の渡り調査報告」を発表し、秋期に相模湾の海上を渡るタカ類について初めて報告した。

* 「湘南短期大学紀要」

「Estimation of water quality by diatom assemblages in the small streams and pond, Kamakura area, south-central Japan」(1994.3.)と

「Assessment of Water Quality Using Diatom Assemblages in Small Streams And Pond of The Kamakura Area, South-Central Japan (II)」(1997.3.)を発表し、

台峰緑地の水質の状態と珪藻類との相関について初めて報告した。

鎌倉自主探鳥会グループから

「鎌倉自主探鳥会グループ」は、(公財)日本野鳥の会・神奈川支部の会員有志を中心とした定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」の自動的な運営メンバーの総称で、自然保護ボランティアの集まりです。

単に自然観察会を継続しているだけではなく、地域の自然環境保全とその向上を図ることを目的に、常にオリジナリティに溢れ、客観的な視点から、現実的な具体策を提言し、着実に実現を図るために、多大な努力も惜しまず、社会的責任をきちんと果しながら、地元に密着した先駆的な自然保護ボランティアとして、今後も活動を展開していくので、皆様の積極的な参加・協力を、宜しくお願い致します。

代表世話役 岩田 晴夫

【鎌倉自主探鳥会グループ事務所】(岩田 方)

メール連絡先: kjgyoyaku@gmail.com